



発行所／みらい川崎市議会議員団事務局

〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内

TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

ホームページ : <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

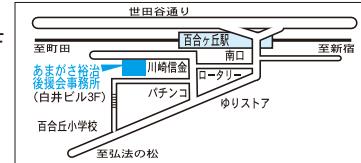
百合丘事務所 〒215-0011

川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F

小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分

TEL-FAX:044-955-2417

メール : amagasa@khaki.plala.or.jp



# 新百合ヶ丘駅～あざみ野駅を結ぶ 横浜市営地下鉄3号線事業化は目前です。

厳寒の候皆様いかがお過ごしでしょうか。

これまでの私が行った横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘延伸に関するアンケート調査は地下鉄延伸と、まちづくりあわせて何回、何年にわたり、何千万円をも投入し本来行政が行うべき調査を先行して実施するなどまさに延伸実現に向け、市民の協力を得てムーブメントを作っていました。

多くの調査結果を川崎市、横浜市に渡してきました。そのなかにおいても特にルートについての意向調査を始めとした周辺地域事情などは両市ともに有益な資料として活用をされてきました。今後ともいただいた意見は反映させていくと思われます。

平成31年度に川崎市は新百合ヶ丘乗り入れの為の本格的な調査に取り掛かり、いよいよそれに伴いルートが決定され、構造も見えてくる局面を迎えることとなります。

実現に向けての具体的な取り組みが急激に加速していく中で、現在私は交通政策審議会で示された乗り換え5分以内という条件に合致する南口の候補地や、ルートを曲げる為に必要と予想される土地(空地更地)情報の提供、又、新百合ヶ丘駅周辺再開発の為に絶対必要条件となるバスターミナルの一時移設のための代替地の確保などの検討材料を提供しています。



日々刻々と変化を遂げる地域環境事情をいち早く取り入れ、事業化判断が既に確定していく中においても遅滞なく進む様に努力しています。

横浜市では収支採算性と事業スキームについて最終判断をするとしてい

ますが、既に交通政策審議会の答申時に国交省は費用便益比を厳しく見込んでOKを出しており、需要規模は1日あたり45,000～53,000人で、概算事業費は1,300～1,500億円、累積資金収支は23～31年目で黒字転換すると試算されていますので、収支採算性の不安は最初から無いのです。

加えて、横浜市とのヒアリングにおいて、新百合ヶ丘駅構造については、現存の起終点駅の一般的な構造で算定するので、駅構造が確定していない事務判断はしっかりと出していくとしています。

又、川崎市としては延伸距離を6キロまたは7キロとしていますが、この意味は暫定的に約6.7や6.8キロ位の想定で算出しておくという意味で距離が短くなれば、後で必要なくなった距離分を補正していくという考え方で進めています。

次に、市民への説明意見聴取を機会あるたびに川崎市、横浜市に開催する様求めてきましたが、具体化していく中で、両市とも丁寧な市民への説明機会の確保(横浜市11/27都市整備局とのヒアリングにおいて遅滞なく事業を進めるが、丁寧な説明必要との考え方を明らかにしました。川崎市においても12/6代表質問答弁＊裏面参照)を約束しました。

更に2年前に提言した両市のバス路線再編については、この地下鉄延伸対象エリアにおける交通利便性の向上をにらんでいくとの方向性を示しました。

最後に、みらい市議団による福田川崎市長への平成31年度予算要望(平成30年12月13日)の際に、横浜市長が1月末に実施が予定される予算の発表において、事業実施が確定的になる可能性が高いという横浜市議会議員からの情報を私から川崎市長に伝え、本市の取り組みについても一層の努力をする様に申し入れました。

**横浜市営地下鉄3号線  
延伸による  
麻生区のまちづくり**

**新しく生まれかわる  
新百合ヶ丘駅周辺に  
求めたいことについて  
みなさんのご意見を!**

**福田・川崎市長にも  
選挙公約実行を求めています**

福田市長は2013年の選挙で、自分の公費ポスターに「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を記載、特記しています



**川崎市議会議員  
あまがさ裕治**

## 平成30年11月26日川崎市まちづくり局交通政策室に確認しました

### <調整状況等>

#### ■横浜市との協議状況

ルートの考え方、事業スキーム等に関する検討、協議を実施し、今年度から新百合ヶ丘駅に関する基礎的な検討を行っている。横浜市による事業化判断に向け、事業手法や費用負担のあり方など協議を深めている。

○平成30年度における横浜市との連絡会実績

副市長級 2回(7月、11月) 部長級 2回(6月、11月)

課長級 高頻度で実施 係長級 高頻度で実施

#### ■小田急電鉄との意見交換

横浜市、川崎市の3者で引き続き意見交換を実施

#### ■川崎市府内における作業状況

新百合ヶ丘駅に関する基礎的検討に着手。昨年度から引き続き、延伸分のルートや中間駅のあり方、まちづくりについて、関係課と意見交換を行っている。

#### <土質調査の実施>

今後のルート検討に幅広く活用するため、昨年度に引き続き、調査を実施。(平成30年9月より現場に着手)。土質調査実施は、ある程度の作業範囲が必要なので、近隣への影響を低減することなどを優先し、可能な限り、公園や道路の公有地を活用して実施している。

#### <先行事例のヒアリング>

#### ■横浜市営地下鉄ブルーライン戸塚～湘南台(藤沢市域)における建設費総額

横浜市によると、戸塚から湘南台(延長7.4キロ)の建設費は1642億円。

藤沢市域分の地方公共団体補助金の負担割合については、神奈川県が3分の2、藤沢市が3分の1。

#### ■横浜市営地下鉄ブルーラインのあざみ野から新百合ヶ丘間延伸の建設費総額見込み

過去に横浜市が実施した次世代の総合的な交通体系の構築に向けた検討(平成26年2月)では、概ね1300～1500億円と試算した経緯がある。現時点において、横浜市からは平成30年度内の事業化判断に向けて精査中。

#### ■小田急線の東京都内複々線化における建設費総額と小田急電鉄・東京都・世田谷区の負担割合

東北沢から和泉多摩川間(約10.4キロ)の事業費

[参考]連続立体交差事業の高架区間における事業費の負担割合 単位:億円

	都市側(国、都、区(市)) <sup>*</sup> 1.2	小田急電鉄
連続立体交差事業	1,830	160
複々線化事業	0	3,040
小計	1,830	3,200
合計		5,030

(出典:「道路と鉄道の連続立体交差事業」東京都)

	国	都	区又は市	小田急電鉄
区部	約42%	約30%	約13%(区)	約15%
多摩部	約45%	約32%	約13%(市)	約10%

\*1:負担割合は、国1/2、都および区市1/2。\*2:都と区市の負担割合は協議により定めている。

【設問3】皆さんのお住いの地域の変化などお聞かせください。

【設問2】これからのまちづくりにとって大切なポイントだと思うことをお書きください。

【設問1】あなたが新百合ヶ丘駅周辺エリアに求めるものはどんなことでしょうか?(複数回答可)

- 1)ショッピングセンターなど商業施設 2)飲食店 3)行政機能
- 4)芸術文化関連施設 5)スポーツ施設 6)アミューズメント系施設
- 7)教育施設 8)オフィス系施設 9)その他

具体的に

【設問3】皆さんのお住いの地域の変化などお聞かせください。

お住まいは? 麻生区

・ 丁目

※集計の上、川崎市に提出しますので必ず町番を御記入下さい

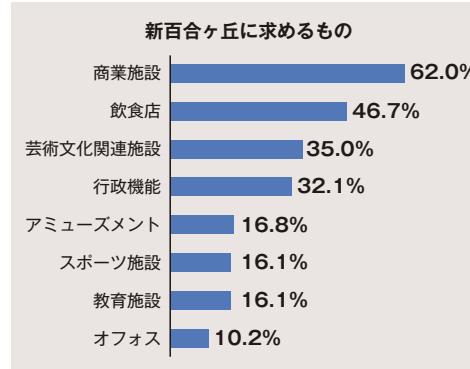
# 生まれ変わる新百合ヶ丘駅に関するアンケート結果報告

## 設問1 新百合ヶ丘駅周辺に求めるもの

19区役所消防署、周辺駐車場などは、有効利用するために再開発すると良いと思う。他を参考に下層に区役所、図書館、区民ホール、上層をオフィス、マンションなどにできないものかと思う。そのマンションを分譲して建設費に参入したりできないものなのでしょうか(千代ヶ丘7丁目)

### <働く場が必要>

- 若い人たちが東京、横浜に就職しないよう、麻生区に働ける会社を作りたい(王禅寺東3丁目)
- 地下鉄が来れば新百合ヶ丘はオフィスに好適な場所になる。飲食店も増やす必要あり。職住近接になる(向原)
- ベッドタウンではなく、職住近接のコンパクト(スマート)シティーを目指す。自転車道路も整備(白山2丁目)



### <魅力ある商業施設、飲食店を豊かに>

- 最も欠けているのは、魅力的な飲食店、ショッピングセンターなどに商業施設(片平3丁目)

### <文化施設・図書館も>

- 文化と芸術の街を目指しているので、そのシンボルとなるような施設がもっとあると良い。音楽や映画だけでなく、アートやサブカルチャー。科学でも良い(王禅寺東1丁目)
- 300人~500人が入るライブホールと10畳前後のスタジオルームが入った音楽関連施設(王禅寺西3丁目)
- 図書館を最新施設に(意見多数)

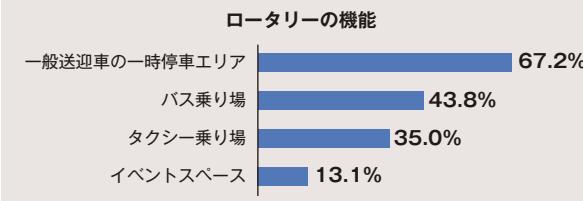
### <駅周辺施設の充実>

- 地下鉄乗り入れと同時に、地下にスペースを作る。南口と北口をつなげ利便性を(向原2丁目)
- 雨にぬれずに直結でスーパー・ショッピングセンターに行けると良い。改札内でコンビニや手土産が買えると便利(高石2丁目)
- 公共パーキングスペースの拡充(細山4丁目)

### <若い世代が良いと思えるまちに>

- 若い世代が将来性のあるまちづくりには必須。他の項目はおのずと追いついてくる(王禅寺東4丁目)
- ラゾーナ川崎や三井アウトレットのような大型ショッピングモール。横浜アリーナのような若い世代向けのコンサート会場(虹ヶ丘1丁目)
- 東急大井町にできた波乗り施設や室内スキー施設や観戦施設のあるテニスコートなど、新しく
- 周辺エリアからも集客が見込める3Dシアター、VRシアターなど(東百合丘4丁目)

## 設問2 ロータリーに求める機能は



### 設問3 ルート検討に配慮する点は

#### <新百合ヶ丘駅位置は乗換えの利便性>

- 小田急駅改札から雨天時でも雨に濡れることなく屋内移動できる連絡通路。傘いらずだとベビーカーや荷物の多い時にも助かる。現在、南口改札を出て、バスロータリーとつながるエスカレーターが1本しかなく、時間帯によって利用できず大変困る(万福寺)

#### <中間駅について>

- 路線は新百合ヶ丘～あざみ野バス路線になるべく沿うべき。駅は将来的に再開発が行われ、活性化し、乗降客が見込める地域に作るべき(王禅寺東5丁目)
- 将来の街の変化、まちづくり計画を見据えた上でのルート設定が必要(東百合丘4丁目)
- 地域工事は徹底して排除すること。どこまでも公共性と客觀性と合理性を持って選定すべき(千代ヶ丘4丁目)

## 設問4 地域の変化について

#### <空家が増えて不安>

- 地区計画(土地面積制限等があり)若い世代が住めない。時代が変化しているので見直しが必要。(王禅寺東5丁目)
- 王禅寺地区、王禅寺東3丁目店5丁目付近にはコンビニがない。商業施設はゆりストアしかない。住民の高齢化で、買い物が不便である(王禅寺東3)
- 我家の隣二軒は空き家となっています。それぞれ90代の一人暮らしの奥様たちが、介護施設に入所中。防犯、庭木手入れ、道路清掃など気を使います。この地域では空き家は軒並みです(千代ヶ丘7丁目)

#### <子育てに幅が出て、通勤にも便利になれば、若い人たちが住んでくれる>

- あざみ野へ簡単に出られると、子育てにおいても行動の幅が広がると話題です(片平5丁目)
- 老人が増えているが、地下鉄が通れば子供たちも通勤できるため、住んでくれると思う。若い人たちを増やすべき(王禅寺東4丁目)
- 私の住んでいるグリーンタウンでも、高齢者の単身世帯が増えました。住宅地の住宅の買い替え促進の施策を(白山2丁目)
- 再開発や住宅の新築で、少しずつファミリーが増えてきた。もっと新百合ヶ丘を活気ある未来を感じさせる街にしたい(王禅寺東1丁目)
- 空家、空マンションが多くなるにもかかわらず、広い緑地が潰され宅地化が進行している(東百合丘4丁目)

## 3号線延伸についての代表質問(2018年12月議会)

**代表質問** 横浜市営地下鉄3号線について、先の議会では、「同路線の検討状況等に基づき3号線延伸分のルートについて、あざみ野駅から新百合ヶ丘駅間において、利便性向上やまちづくりへの効果など、様々な観点からの比較検討を行っている」との答弁でした。検討に際して基本的な項目、それに対する具体的な観点は?

**まちづくり局長** ルート検討等にあたっての観点等についてですが、主な検討内容としては、中間駅の駅位置、ルート案の検討、中間駅周辺のまちづくりに関する検討、中間駅に関する都市基盤に関する整備可能性の検討などを実行している。

次に、新百合ヶ丘駅に関する基礎的検討についてですが、現在、歩行者の流動等の基礎的な調査・検討を実施しており、新百合ヶ丘駅への接続によるターミナル機能の強化・充実を目指し、平成30年度末までの横浜市による事業化判断に向け、引き続き連携し、検討進めていく。

**代表質問** 次に、横浜市と連携しながら実施している新百合ヶ丘駅に関する基礎的検討、具体的な項目について。本市にとってメリットの大きい計画となるようなルート等について、「検討の深度化を図る」とあるが、基本的には交通政策審議会の答申や方針を踏まえなければならない。どのような方針に基づきルート決定の深度化を図るのか?

また「事業化に向けて市民の皆様への情報提供を行うとともに、ご意見をいただきながら更なる取り組みを進めていく」との答弁だったが、今後の取り組みの方向性は?

**まちづくり局長** ルート決定の深度化については、同路線は事業採算性を確保した上で、両市にとって整備効果の高い路線となるよう、総合的に検討進めている。本市としては、引き続き、予算スケジュール等との調整を図りながら、横浜市との協議を進めていく。

次に市民への情報提供等については、事業化判断の内容を踏まえて、丁寧な説明を行っていく。その具体的な進め方については、引き続き横浜市と協議調整を進めていく。

郵便番号

215-8790

647

(受取人)

川崎市麻生区高石

3-27-4

あまがさ裕治

事務所行



あなたのご意見をお寄せください

お名前	住所・電話
ふりがな	川崎市
TEL	( )